

よりだ寺福廣

26号

本堂庫裏再建工事

総会で
決まる

本堂庫裏再建工事は一月三十一日の門徒総会で基本計画が提案されこのお願いが大筋でご賛同を頂き六月の着工へ向け大きく動き出すことになりました。総会には約百二十名のご門徒の皆さんがつめかけられ寒中の本堂に熱気がこもりました。総会はおつとめに始まり経過報告の後、基本計画の説明で中途半端でなく本格的に工事を進めたいことが力説され



れ続いて住職、当院からお念仏の道場、法城としての本堂、ご門徒の皆さんの総仏壇としての本堂の再建に総力を結集して参りたいとお願いがあり質疑に入りました。三年間で七十万円はきつい。五、六年の計画も。きびしい経済情勢下、懇志を出資下さる側の立場にも配慮されたい。というご発言がありました。が、無理なお願いの強制は絶対に避けることが基本計画に盛られています。四月、五月になりますとお願いに



回りますので奉加帳にご懇志の上納総額と納期、分割または一括の方式をご記入頂きたいと存じます。これによって資金計画をたてることになります。なおご門徒の皆さんでこの工事の入札などに参加を希望する業者をご存知の場合、寺あてご紹介下さるようお願いいたします。(三月二十日まで) 五月初旬には業者が決定すると思われしますので五月二十三日の自坊法要の折に工事の運びについて報告いたします。本年度の寺の行事についてもお願いがございます。〔写真は門徒総会〕

自坊法要を勤めます

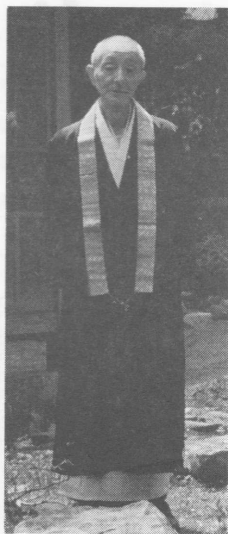
5月23日前住17回、前坊守50回忌

本年は前住職17回忌、前坊守50回忌の年忌に相当し5月23日(日)午前10時自坊で法要を勤めますので皆さんお誘い合わせてお参り下さるようご案内申し上げます。

昭和60年9月22日鐘楼落慶法要に引き続き前住3回忌、前坊守37回忌法要を勤め、また本年本堂庫裏再建工事を目前にして両親の法要を勤めるご縁を頂きました。感慨ひとしお、おかげさまで今日あることを喜んでおります。法要に近くもう一度ご案内申し上げます。

偲 前住職 寂靜院釋恵応

昭和58年6月4、5日の御遠忌をすませホツとしたのでしょうか、10月6日まで寺役をつとめ、7日不調のため病臥、11日入院、3日目に病状急変、14日夕刻行年86才で往生の素懷をとげました。満60年間住職として広福の寺門経営に当たりこの間火難による堂宇の焼失、再建という骨身をけずるような苦難の



道を辿りながらお念仏を深めていきました。生涯一介の野僧に甘んじながら残された筆録はおびただしい。本山の安居を無上のたのしみとし、夜虫メガネをたよりに仏書を読み、56年副講師の学階を授けられた。



偲 前坊守 智鏡院釋妙勝

母は亡くなった年の春京の下宿を訪ねてくれました。私は京都、奈良と案内しました。一タ円山公園の中にあるいもぼうという店で夕食をごちそうしました。十年前父にごちそうになった記憶で親孝行のマネごとみたいなものでした。下宿で都新聞の記事(大学の学術雑誌にのせた論文の紹介)を読みたまました。私の名前に眼がとまり母は本当に喜んでくれました。良寛さまについての論文でした。夏休みに帰る前に見舞の手紙を出しました。血圧の具合がよくなかったのです。千円を同封しました。叔母の話によると、母はだまって

梵鐘講・本山御布教

3月9日 午前10時 おつとめ

宇治市 笠嶋教瑞師

御布教 2席

正午 おとき

午後 余興 唄とおどり

○お初夜 午後7時 おつとめ

御布教 2席

◎皆さんお誘い合わせてお参り下さい。

志に「ときかた」

いたけれど、その手紙を枕元におき何度何度もとり出しては読んで喜んでいたのでした。そのころルチンという血圧の薬があつて母にあげたこともありました。

自坊法要の志として一戸に一冊と

きかたへ新みちしるべ、釈尊十大弟子シリーズ、説法・仏教伝道協会さんぼうの会刊へをお届けいたします。前回の自坊法要のときには、「ちえ」をお届けいたしました。気の向いたときお読み頂ければと存じます。どこから読まれても結構であります。

◎寺から遠く世話方、総代のおられない地域のご門徒で自坊法要にご出席の方は直接寺あてにお電話下さるようお願いいたします。

奥能登の旅

広福寺と先祖の
ルーツを訪ねる

住職は昨春、寺のルーツをたずね奥能登を訪しました。寺の開基と同じ船で越後へ移住した信徒が七人あるいは十人と伝え、昨秋日本交通公社新潟支店の森田一芳氏(観音寺)のお世話で奥能登の旅を企画して頂き40名が参加、幸い天候に恵まれ遠く先祖に想いをはせる旅をたのしむことができました。参加者



のご協力のおかげと喜んでおります。当寺開基のほか、武石金五郎、森田源五兵衛、加藤善九郎、星野作右工門、加賀谷嘉右工門殿の子孫または関係者九名の方々からご参加を頂きました。当寺開基の故地(珠洲市宝立町柏原、加志波良比古神社)で和嶋俊二先生(珠洲市郷土史研究会会長)から講話を頂きました。幸運なことでした。

翌日は能登島、伊夜比咩神社、ガラス工房などをめぐり千里浜などをドライブ、ほぼ予定どおり無事帰着することができました。

長寿者の表賞

本山では長
寿者に記念品

朱塗り木杯を授与し褒状を贈って表彰しております。呼び年90歳から申請できます。平成11年は明治43年生まれの方が呼び年90歳です。ご希望の方は寺まで保険証をご持参下さい。コピーしてすぐにお返しいたします。

書院 襖絵 新潟大和に展示

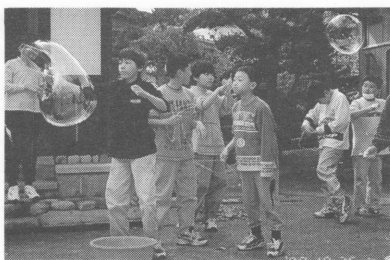
新潟日報社主催「ふるさと原風景」柴田長俊展が3月25日から30日まで大和7階美術特別会場で開催され当寺書院の襖絵(大谷統司氏寄進)も展示されることになりました。柴田氏は創画会会員に推挙されて10年、襖絵は10年間の制作過程のなかで道標となる大作とされており。

本堂庫裏解体工事につきお願い 工事は6

月10日予定ですが、戸障子などの建具は規格外で不要となります。ご希望があれば貰って下さればありがたいと考えております。

ことしの年忌当たり年

1周忌	平成10年没
3回忌	平成9年没
7回忌	平成5年没
13回忌	昭和62年没
17回忌	昭和58年没
23回忌	昭和52年没
27回忌	昭和48年没
33回忌	昭和42年没
37回忌	昭和38年没
50回忌	昭和25年没
100回忌	明治33年没
150回忌	明治3年没
200回忌	寛政12年没



ジャンボシャボン玉に挑戦

写真は昨
年の十月の
大会(子ども会)でジャンボシャボン玉に

挑戦しているところ
です。本堂の畳の上
にすわりお経をあげ
法話を聞く。レクリ
エーションがおわ
るとおにぎり大会
があります。ふだ
んやったことがな
くてもみんなやれ
ばけっこうたのし
めるものですね。

I 平成10年度当寺勸金決算書

〔収入の部〕

科 目	決 算 額
勸 金	2,283,000
雑収入	47,191
繰越金	49,689
計	2,379,880

負担金の内訳

広福寺分	569,555
心光寺分	161,605
ともしび代	24,000

〔支出の部〕

科 目	決 算 額	摘 要
寺務経常費		
負 担 金	755,160	本山護持金・ともしび代
事務通信費	114,906	複写・切手・はがき
会 議 費	76,556	世話方会議・総代会議
教 化 費	241,250	御布教・聞法会・広大会
営繕管理費	208,680	火災共済・銀杏枝伐採
門徒交際費	188,130	見舞・御本尊下付・謝礼
(小計)	1,584,682	
事 業 費	750,000	広福寺基金積立金
繰 越 金	45,198	次年度へ繰越し
計	2,379,880	

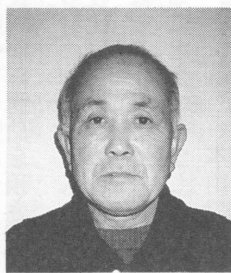
II 平成11年度当寺勸金予算書

〔収入の部〕

科 目	予 算 額
勸 金	2,200,000
雑 収 入	20,000
繰 越 金	45,198
計	2,265,198

〔支出の部〕

科 目	予 算 額
寺務経常費	1,700,000
基 本 積 立	500,000
繰 越 金	65,198
計	2,265,198



寺に近い麓、観音寺
村山境江、山岸山崎、
辰ノ口長崎地区のご門
徒へ毎年彼岸納めの九

女 性 講

納していたことが
申し合わされました。

一戸当たり八千円の勸金

今年
も昨年

に三万円の補助金が交付されました。境内前庭の銀杏の枝が風に折れ危険となり伐採で切りつけてもらいました。他の経費をきりつめ広福寺基金に二十五万円増の七十五万円を積み立ていたしました。

墓地管理費

月二十六日、ご案内をさしあげ女性講(によしょうこう)を勤めております。この地区の方々は勸金と同時に一戸当たり二百円の講金を上納下さるようお願いいたします。講金は当日のお賽銭と合わせて積立て講の運営に充てております。御布教は寺泊聖徳寺窪沢泰忍師をお願いしております。

旧墓地も含め当寺墓地にお墓をおもち

の方に墓地管理費(年間二千元)を納めて頂くことが世話方会議で決議されました。勸金と同時に上納をご希望の方は世話方にお申し出下さい。シルバー人材グループ会に清掃管理を毎月お願いしております。

世話方に平岡、近山氏

去る十月二十四日の臨時

世話方会議で麓二区の中村、山岸氏担当地区は門徒数が多いためそれぞれ平岡清夫氏、近山富士弥氏に増員という形で世話方を委嘱することが提案されお世話頂くことになりました。「上の写真は右から平岡、近山氏」また境江地区は丸山平一氏、弥彦地区は武石稔氏、走出地区は松居昌夫氏、吉田地区は和歌浦香氏にそれぞれ地区総代をお引受け頂きました。上泉地区の藤原恒雄氏には金池、樋曾地区も担当頂くことになりました。つぎに幕島京ヶ入地区は八子哲夫氏病気のため桜井惣五郎氏に代行をお願いいたしました。